

馬見原の未来を描こう

町では、馬見原の住民のみなさんと検討会を重ねるなど、馬見原地区活性化計画の策定を進めています。本計画は、後継者育成・観光客誘致など馬見原の活性化に向けて、馬見原の資源を今後どのように活用していくかをまとめるもので、平成25年度中の完成を目指します。コンサルタントへの委託費の予算(150万円)には熊本県の「地域づくり夢チャレンジ推進補助金(補助率50%)」を活用しています。

計画策定の一環として、9月17日に馬見原でモニターツアーを実施。フリーライターやマーケティング・食育の専門家など女性5人がモニターを務め、馬見原の街並みや郷土料理を体感し、意見・感想を述べました。



モニター(右列)に郷土料理の説明をする、馬見原のみなさん(9月17日・馬見原公民館)

- モニターの意見・感想
- 道行く人が、「どこから来たのですか」と温かく声をかけてくれて、よかったです。
- 店に入るとすぐく素敵だが、店の外からはそれがわからない。また、ちよつと座る椅子など、休憩するところがない。
- 馬見原の街並みは、新しいのか古いのかよく分からない印象がある。
- 具酢(ぐず) あえのソースがおいしかった。
- 馬見原がお茶の産地とは知らなかった。目の前でいねいに淹れていただいた釜炒り茶が、さわやかな味でおいしかった。栗の渋皮煮などと一緒に味わいたい。
- 鯛めんは、天草や四国の海沿いの郷土料理でもある。山中の馬見原でなぜ鯛めんか?、繁栄の歴史を知ると納得する。



短冊状に野菜などを配した、「具酢あえ」



そうめんで波を表現する、「鯛めん」

町長室から 工藤 秀一

9月16日は敬老の日です。山都町でも各地区におきまして、敬老の日を祝う会が開催されました。

私も時間の許す限り出席させていただきました。

出席された皆さんは、実に若々しく、いきいきとお元気な姿でした。それぞれの方に共通して言えるのは、戦後の厳しい時代を乗り越えられてきたことです。

農家にあつて、戦後に激変したのは、農作業の機械化であったと思います。

田植えといえ、集落の人々が共同で手植えをしていました。いわゆる「結い」といわれるものです。やがて、ブルドーザーが普及し、農道の整備が進むと、益牛から耕運機に代わり、次第に田植え機、稲刈り機などが、農家それぞれに揃えられるようになりま

した。その結果、共同作業というものは、次第に姿を消していきました。

そして、「結い」というものに頼らなくても各戸で農業を営むようになり、自然と近所づきあいや集落内の結びつきが希薄になり、「お互いに助け合う」という大切なものを、地域社会は失っていったと思います。

今、山都町は超高齢化社会に入っています。この地域社会において最も大切なことは、共助の精神や「そこに生きる誇り」だと思っています。一人暮らしの方や高齢者だけの夫婦の家庭もあります。

地域の見守りは是非とも必要です。その一方で、高齢者の方でも農業に家事に精を出され、住み慣れた地で四季を感じながら心豊かにいきいきと暮らす方々が、たくさんいらつしやいます。

山都町は、若い力だけではなくこうした高齢者の方々に支えられていることを、忘れてはならないと思います。

自然の中で豊かな育の子どもたち その46

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

昨年の「通潤水の生きものたち」観察会では、お目当てのシビンタ(淡水魚・和名はアブラボテ)を観察することが出来た。さらに絶滅危惧種のタガメを見つけるなど、希少な生きものたちに出会うことが出来た。このような貴重な体験は、そう何回も実現するものではない。今年の通潤水での観察会では、果たしてどんな生きものたちに出会えるのか、期待をしながら準備を進めた。

8月18日に「通潤水の生きものたち」観察会を実施した。町教育委員会と九州大学の鬼倉先生の研究室、白糸自治振興区との共催で実現できた。観察場所は、下井手水路の小ヶ蔵地区の地点である。

午後1時、集合場所の道の駅「通潤橋」に参加者が集合した。まず、通潤橋に移動して、下井手水路の取水口を見学した。通潤水には、通潤橋を通った水を運ぶ上井手用水と、通潤橋下の五老ヶ滝川から直接水を引く下井手用水があり、白糸台地に水を送っている。

取水口を見学し、目的の下井手用水11号水路に移動した。白糸自治振興区の方々や鬼倉先生方がすでに現地まで待っておられた。まず水路の周辺の観察から始めた。参加者が最初に見つけたのは、水路の中で繁茂しているオオカナダモの白い花だった。子どもたちは水中を泳ぎ回る魚を見つけた。

最初の説明を済ませ、いよいよ水路の中に入った。子どもたちは手に網を持って夢中になって魚を追いかけ始めた。気が付くと大人やも夢中になってい



地域の年配の方が手際よく網で生きものを捕獲される様子を見て、子どもたちがコツを覚えた。生きものが網の中に入ると、子どもたちの歓声があがった。そのとき、「シビンタが獲れましたよ!」と声が上がった。(次号に続く)



YOU&YOU通信

Vol.77

結婚相談員です!



栗屋 誉男さん (神戸前) TEL 83-0691

五年目になる栗屋です。最近では、私の顔を見て「YOU&YOUに参加したい」と声をかけていただく方が増えています。大変嬉しく思っています。

興味のある方は、気軽にご相談ください。イベントは毎月行われています。勇気を持って参加した方には、きっといい出会いが待っているはずですよ。一度参加してみませんか? よろしくお願ひします。

9月交流会紹介

今月は、前半期の最後の交流会ということで、懇親会交流会を行いました。男女合わせて8名の少人数交流会でしたが、数回目の顔合わせの方もいて、最初から和やかな雰囲気です。スタートしました。女性参加者が回を経ることに、楽しそうに話される様子を見て、男性陣にもこの調子で頑張ってもらいたいと願っています。

10月から後半期を迎えますが、YOU&YOUは変わらず交流会を行います。ぜひご参加ください。お待ちしております。

- ☆交際中カッパル紹介☆
- *男性Uさん(34歳)&女性Vさん(40歳)* 交際期間...8ヶ月
- ① YOU&YOUに参加したきっかけは? U...相談員さんの勧めで参加しました。 V...友人の誘いで参加しました。
- ② 初めて参加した時の感想は? U...思っていたより和やかな雰囲気に参加できました。 V...緊張しましたが、男性の方がたくさん話しかけてくださり楽しく過ごせました。
- ③ お互いの第一印象は? U...笑顔がかわいいと思いました。 V...話しやすい人だなと思いました。
- ④ 現在の心境は? U...勇気を出して参加して良かったなと思っています。 V...とても楽しいです。
- ⑤ まだ参加していない独身者(男性・女性)へひと言 U...どこに出会いのきっかけがあるかわかりませんが、YOU&YOUはきっかけの一つだと思います。気軽に参加してみてください。 V...一歩踏み出してみるのもいいかなと思います。

問い合わせ先

YOU&YOU事務局 (役場 総務課) 成瀬・吉田
【専用電話】090-95651-9589
【専用アドレスPC】marriagesupport@town.kumamoto-yamatok.jp
【専用アドレス携帯】you_and_you@docomo.ne.jp